



**日本橋中前の歩行者橋から隅田川を望む**  
 左手に両国橋、新大橋方面が見える。陸橋がオープンで一定の高さがあることから、開放感と川風に心地よいが、正面の首都高の連なりが背後の景観を遮り、川面に影を落としている。

**橋と橋詰めの景観形成**

橋のデザイン、ライトアップ等の修景  
 橋詰めの活用、河岸へのアクセス、親水性の確保

**隅田川テラス（日本橋中前）**

中学生のクラブ活動などの走路になっている。水辺と後背地との連続が課題。

**隅田川テラス修景（日本橋中前）**

奥に両国橋が見え、日本橋中学の前から横断歩道で河岸の歩道部に上れる。歩道部は浜町河岸通りより高く設置されている。

**大川端の景観形成**

水辺の軸として、水辺に向けた景観誘導と規制（高さ、セットバック、連続性、色彩等）。河岸の良好な利用ガイド・修景指針など。

**浜町公園の河岸**

修景デザインされているが、管理があまり良くなく、ホームレスも定着している。

**新大橋から上流**

浜町側の河岸は首都高が上空を走り、江東区側の河岸には板のようなマンションが連なっている。

**消防艇の係留**

日本橋消防署の消防艇が3隻係留されている。

**日本橋中州、河岸のマンション**

建設が比較的古いのか、地盤面が堤防よりも日本橋浜町三丁目におおよそ1階分ほど低い。

**隅田川テラスのホームレス**

浜町側の北側の首都高の下、雨露が渡るのか、テラスに掘られたデッキの上に仮設のアパート等でホームレスの居住がみられる。

**清洲橋**

全体のフォルムがきれいで、夜にはライトアップされ、大川端に映える。

**隅田川テラス案内板**

周辺を含めた地図、歴史的な紹介もあり、デザインされており好ましい。

**常盤橋・常盤橋公園**

CAPS がアサインイベントを開催、日本橋ルネサンス委員会もこれに協力している。さらに、保存・修復へ向けた新たな活動が立ち上がろうとしている。



**旧常盤橋**

歴史的にも、現在の位置にも優れた資源であるが、老朽化が進み、上空は首都高に覆われている。



**隠れた眺望点**

新大橋の一石橋へ至る遊歩道から見える日本橋川河岸は、首都高が移設されると、東に一石橋、西河岸橋、日本橋など、北に日銀、常盤橋などが見え、優れた眺望点となることが想像できる。



**対象とした水辺**

日本橋川・隅田川

**河岸**

**拠点・ポイント（橋と橋詰め）**

**現状のイメージ・環境等**

- 良好なイメージ・環境 ●
- 好ましくない ●
- 複合的な課題 ●
- 水辺とのアクセス遮断 〰〰〰

**一石橋から下流**

左岸側は、河岸が埋め立てられて建築物が建っている。右岸側は地盤面が低く、河川からコンクリートの薄い壁が立ち上がっている。



**湊橋から下流**

豊海橋がみえる。河岸ぎりぎりに薄い箱板状のビルが並び、河岸も垂直のコンクリートである。



**日本 IBM 箱崎ビル**

河岸と一体となった修景が施されており、緑も豊かで、幅広いオープンスペースが生み出されている。

